



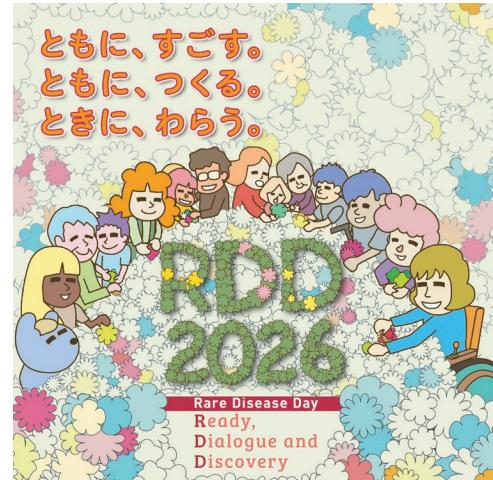
世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day)

RDD横浜/BIBLIOセミナー in 日本橋

患者・家族の声を聴く

～PPIEの重要性から実践まで、

研究のすべてのフェーズにどう活かすか～



Rare Disease Day in Japan 2026公認開催のイベントです。

創薬、医療機器、ヘルスケア製品の研究開発において“声を聴く”ことの重要性と実践方法を知ることで希少疾患研究の事業化を加速させ、患者や家族のQOL向上に寄与することを目指します。

参加無料

【日時】2026年3月17日（火）14：30～17:00 (受付開始14:00)

【場所】現地：日本橋ライフサイエンスハブ

※東京都中央区日本橋室町 1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング

※会終了後、登壇者との名刺交換の時間を設けます

オンライン：zoomウェビナー

【申込方法】現地 (定員：80名)

現地申込はこちら →



URL <https://biblio-rare-disease2026.peatix.com>

オンライン (上限:300名)

URL https://zoom.us/webinar/register/WN_L-MevAgRSbec63h0xHKQJQ



【イベント内容】裏面にてご確認ください

オンラインはこちら →

【お問合せ】公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団 担当：仲間

E-mail : biblio@kihara.or.jp



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

LINK-J
Life Science Innovation Network Japan

(公財) 木原記念横浜生命科学振興財団では、活動趣旨にご賛同される方からの寄付をお待ちしています。

HP : <https://kihara.or.jp/donation/>

＜プログラム＞

14:30-14:40 開会のあいさつ

公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団 常務理事 村田 正弘

14:40-15:00 セッション1 規制当局の視点

「PMDAの患者参画の取組みと今後の展望

～規制当局の業務・判断に患者の声をどう活かしていくか～」

医薬品医療機器総合機構（PMDA）

新薬審査第一部主任専門員 患者参画WGリーダー 手塚 瞬 氏

15:00-15:20 セッション2 医療者・患者の視点

「希少疾患患者・家族の経験と研究への期待」

神奈川県立こども医療センター

医務監・小児がんセンター血液・腫瘍科 後藤 裕明 氏

15:20-15:40 セッション3 研究者・企業の視点（実践と効果）

「対話で拓く、医療の未来～中外製薬における患者団体との協働～」

中外製薬株式会社 渉外事業部 パブリックアフェアーズG 竹内 沙紀 氏

15:40-16:00 セッション4 患者さんの声を聞くことの重要性

「なぜPPIEが必要なのか？国内事例と実践のポイント」

3Hメディソリューション株式会社3Hライフサイエンス研究所長 牧 大輔 氏

16:10-16:50 パネルディスカッション

テーマ 「患者の声を聴き、患者の声を活かすためにはどうしたらよいか」

16:50-17:00 閉会のあいさつ

※演題名および内容は、都合により変更となる場合があります。



本イベント（RDD横浜）は、RDD2026の公認を得て開催するものです。RDDは世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質の向上を目指す活動です。2008年からヨーロッパでスタートしました。日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催しています。

RDD2026は、全国各地で開催されます。
RDD横浜を含めたRDD2026の詳細は[こちら](#)



【主催】：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

担当：事業企画部 仲間稔光 お問い合わせ：biblio@kihara.or.jp

【共催】：横浜市経済局

【協賛】：一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）

（公財）木原記念横浜生命科学振興財団では、活動趣旨にご賛同される方からの寄付をお待ちしています。

HP：<https://kihara.or.jp/donation/>